

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第十回ディズニー・チャンネル放送番組審議会
議事録

- 開催日時 : 2008年4月18日(金) 17:30~19:30
- 開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナ
ショナル ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室
- 在任審議委員数 : 7
- 出席審議委員数 : 6
- 出席審議委員氏名 : 加藤 諦三
木下 美子
中川 真弥
前田 耕作
柳生 純麿
湯川 れい子
- その他、ディズニ : エディー・カックス
ーからの出席者 (バイス・プレジデント/編成部)
アイリーン・ハンベルガー
(プログラミング・シニアマネージャー/編成部)
待鳥 雅之
(コンプライアンス・スーパーバイザー/編成部)

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニーの
番組編成・改編について
 - 2) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニー放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にVHSテープを送付
した。)
 - ・「バニータウン」
 - ・「フィニアスとファーブ」
 - ・「ウェイバリー通りのウィザードたち」
 - ・「ファイヤーボール」
 - ・「デルトラクエスト」

審議の概要

1) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニー番組編成について

ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニーの番組編成・改編について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- 今年から新たな試みとして、各国で現地発世界向けの番組制作も始まっている。たとえば、今回ご紹介する「バニータウン」や日本で制作された「ファイアボール」など。
- 最近ではエコ関連の番組が流行しているが、ディズニーでも自然に関する番組を放送する予定はないのか？ 自然の大切さを学べる番組を放送したら良いのではないのか？
- 夏休み頃から、その分野の番組を放送予定。今後も増やしていきたい。

2) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニー放送番組について

ディズニー・チャンネル放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『バニータウン』について：

- 舞台となるバニータウンは、実に多くの種類や性格のちがうウサギたちが住むにぎやかな町。ウサギたちが、ことあるごとに歌い踊り出す姿を見て、視聴者の子供達も一緒に楽しめるという作品。イギリスのロンドンで制作されて、世界のディズニー・チャンネル向けに発信された作品。
- 登場キャラクターのやわらかさが好まれるのであろう。対象年齢はいくつか？
- 対象年齢は3-5歳くらいを想定している。
- エンターテインメント性が高い印象を受ける。楽しく見られる作品である。

『フィニアスとファーブ』について：

- 頭のいいフィニアスとファーブが、待ちに待った夏休みを無駄なく楽しく過ごすために、大掛かりなジェットコースターを作ったり、ビーチを作ったりする。二人の姉のキャンディスはそんな二人の悪巧み（楽しい計画）をいつも母親に告げ口しようとする。
フィニアスとファーブの二人は、カモノハシのペリーというペットを飼っ

ている。このカモノハシは、実は凄腕のシークレットエージェントで、世界征服を企む科学者の悪の計画から誰も知らないところで、たった一人でこの世界を守っているという設定。

- 「ハイスクール・ミュージカル」等でもおなじみのアシュリー・ティズデイルがフィニアスの姉キャンディアスの声を担当。
- 「自分が昔やってみたいと夢見たことがアニメーションになった感じ」というコメントも届いている。子供たちには好評で笑える作品。
- 二つのドラマが同時進行する高度なアニメーション作品。対象年齢はいくつくらいだろうか？ 昔のスターや音楽の話題なども含まれているようで、子供たちには難しい内容もあるのではないだろうか？ 使われている単語も子供たちにとっては少々難易度が高いと思う。とはいえ、今回見た作品の中では、一番楽しめる内容の番組だ。

『ウェイバリー通りのウィザードたち』について：

- ごく普通に見える家庭の14歳の少女アレックス、兄のジャスティン、弟のマックスという3兄妹（+弟）にして3人の見習い魔法使いたちが繰り広げるコメディ。
- エピソードの基本的なパターンとしては、3人とも魔法を使えるということに、自分が抱える問題を解決するために安易に魔法を使おうとするが、彼らが望んでいた結果とは全く違う展開になる（笑える悲劇を起こす）というもの。
各エピソードでは、彼らは毎回新しい呪文を一つ学び、結局のところ、楽な道はないという教えが含まれている。
- アレックス役のセレナ・ゴメスは、ハンナ・モンタナにも登場して、ハンナの嫌なライバル歌手という役柄でゲスト出演している。
- 魔法使いは子供たちに受ける設定である。
- 父親がイタリア系で、母親がヒスパニック系という設定のようだが、色々な人種をキャストに採用しなければならない規定があるのか？
- 米国では、キャストが特定の人種に偏らないように配慮しなければならない場合もある。

『ファイヤーボール』について：

- おおよそ4万年先のとある星を舞台にしたもので、人類の抵抗によって歴史の表舞台から消えかかっているロボットの貴族であり、公爵の娘でとてもわがままなドロッセルお嬢様と、その執事ゲデヒトニスの他愛のない日常の姿を描いたもの。

- ドロッセルは人間の年齢に換算して14歳。一番難しい年頃。
執事のゲデヒトニスは古くからフリーゲル家に仕えるロボットで、人間でいえば約50歳程度。お嬢様のわがままに振り回されることに喜びを感じている部分が見受けられる。
- 不思議なストーリーだ。ジェネレーション・ギャップなのか、少々理解が難しかった。子供向けにしては、例えば、執事の言葉遣いが高度すぎるようではあるが、子供たちには理解できるのか？
- 調査では、6～8歳の子供達もよく理解していた。台詞を丸暗記して親しんでいた子も居た。コアファンも対象としている。ディズニーとしては全く新しい試みであり、日本独自のアニメーションで方向性を探る。海外で放送するにあたっては、台本を「書き直す」ことになるだろう。

・『デルトラクエスト』等について：

- 王家に伝わる7つの宝石を奪い返すために、鍛冶屋の息子のリーフが、父の親友であり頼もしい仲間であるバルダと森で知り合った少女のジャスマミンの3人で冒険に出るというストーリー。原作は、エミリー・ロッダというオーストラリアの作家の方が書いた小説で、日本でも累計で200万部程度売れている作品。
- 正統派のアニメーション作品という感じ。
- 血生臭いところがなく、しかも分かり易い。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので19:30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。